

# 三保でユニバーサルビーチをやろう！

高齢者や障がいのある方も快適に旅や外出を楽しめる社会へ

NPO 法人静岡ユニバーサルツーリズムセンター



3回目の開催となる「三保でユニバーサルビーチをやろう」ですが、今年はスタッフを含め総勢150名の参加。しかも口コミだけで申し込みが一杯になってしまふほどの人気イベントに！参加者みんなが虜になってしまふユニバーサルビーチの魅力に迫ってきました。



「最初は手探りで不安も常にあったけれど、障がいのあるなし関係なく、誰にだって海は危険な場所。誰もが気軽に安心して海を楽しんでもらえるように準備をしている。1回目の開催では、子どもや障がいのある人にのみライフジャケットを用意したが、2回目からは安全面も考慮し、海に入る人の分まで準備。だけどライフジャケットの数が足りず困っていたところ地元マリンショップが申し出してくれた。ヨットも乗る人はいないかと思っていたら3人も乗ってくれた。」 主催者 談 協力し合いながらベストな状態へとイベントを作り上げているんですね。

海なし県の長野から初参加の家族とハケ岳観光福祉デザイン室のスタッフにも出会いました。「定員いっぱいのところを1枠もらい参加。初めての海に水着を用意するところから楽しんでいた」とのこと。波の揺れも怖がることなく、満面の笑みで思いっきり海遊びをしていました。

デジタルの中になり、現代の子どもたちは原体験（海が塩味なのを知らない、砂利が嫌だから触れない）のない子どもが多い。様々な刺激を受け、豊かな感覚を養ってほしい

